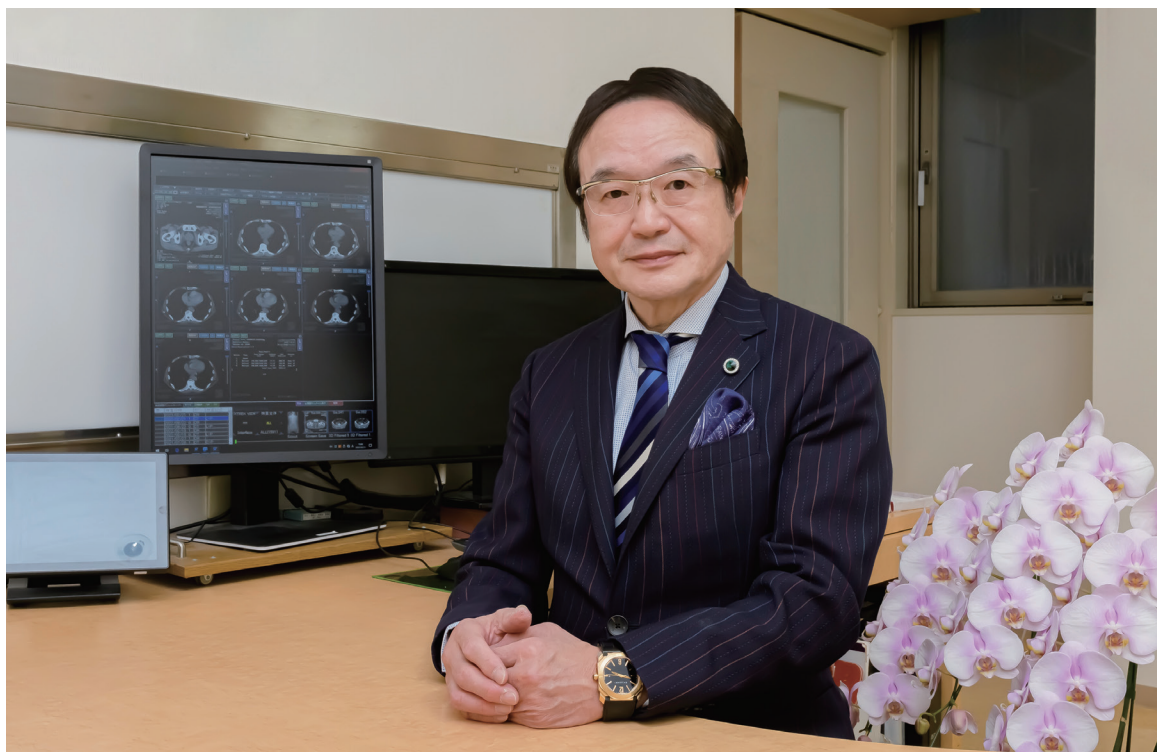


# 開業25周年を迎え、地域に根付いた 泌尿器科の専門クリニック



「日々の診療はもちろんですが、最先端の医療の知識や技術の習得と研さんを心掛け、患者さんへのより良い医療の提供に努めています」と話す岩澤院長。また、2021年4月に設立された「一般社団法人日本オフィスウロロジー医会」の代表理事・副会長として活躍し、全国各地の医師とコミュニケーションを図りながら高度な泌尿器科医療を展開している。道内初の「スターフォーマー（高強度テスラ磁気刺激療法）」を導入して、新しい医療も提供している

1998年に開業してから2023年2月4日（立春）で開院25周年を迎えた。岩澤晶彦院長は泌尿器科疾患全般に精通し、特に男性の前立腺疾患と、女性に多い過活動膀胱の治療を得意としている。

また、岩澤院長は日本の泌尿器科をけん引してきた一人でもあり、21年4月には日本で開業している泌尿器科医を対象とした「一般社団法人日本オフィスウロロジー医会」を立ち上げ、代表理事・副会長に就任。患者には、泌尿器科疾患に関する最先端の医療を提供してくれる。

診療は、「できるだけ早く診断して治療することを第一に考えています」と話す。それは医療方針・理念でもある「迅速性（スピード）」に力を入れているからだ。また、医療にとって最も重要な「正確性」に細心の注意を払うことはもちろん、必要に応じて札幌市内外の病院との病診連携にも積

極的で安心の体制が整う。

さらに、患者に対しての「誠実性」を重視。そのため接遇教育にも力を入れ、この考えは全職員に浸透して、岩澤院長を中心に全職員が患者のために高いホスピタリティを持って対応する。患者からは「親身になって話を聞いてくれる」と評判だ。

岩澤院長は毎朝5時前に起床し、愛犬のビヨンフリーゼの散歩を行い、朝日を浴びてセロトニンを活性化している。さらに夏はマラソン、冬はクロスカントリースキーで汗をかき、脳を活性化させ、体調管理に心掛けて、道内外から多数通院する患者に対応している。

また、新たに道内初の治療機器「スターフォーマー（高強度テスラ磁気刺激療法）」を導入。約30分座るだけで骨盤底筋の収縮強化や下半身の血流促進、排尿神経を刺激調整し、頻尿や尿失禁に対する画期的な治療を提供している。



- ① 新しく改装した清潔感あふれる明るい院内
- ② 最新型のマルチスライスCTを導入。検査室はヒーリングアートを取り入れ、落ち着いた気持ちで検査ができる
- ③ 日々研究に努め、日本の泌尿器科をけん引する岩澤院長

## 院長 岩澤 晶彦氏

1977年札幌西高校卒業。85年札幌医科大学卒業。同大泌尿器科入局。94年ヘルシンキ大学留学。96年北里柴三郎記念学術奨励賞受賞。札幌市ビル医会会長。日本オフィスウロロジー医会代表理事・副会長。札幌西高・輔仁会幹事。札幌医科大学医学部同窓会監事。医学博士

## 泌尿器科

医療法人 札幌会

## 岩澤クリニック

☎011-613-6000

札幌市中央区南1条西16丁目 レーベンビル2階  
<http://www.iwasawa-clinic.jp/>

診察受付時間／（※新患は10:30まで）

月・水  
8:30～11:00 15:00～16:30（完全予約制）  
16:30～17:30  
火・木・第2・4土曜  
8:30～11:00

金曜  
8:30～11:00 15:00～16:30（完全予約制）  
休診日／第1・3・5土曜・日曜・祝日

最寄りアクセス／  
地下鉄東西線西18丁目駅5番出口から徒歩2分